

# 県議会各会派代表者座談会

# 県議会 6月定例会が開会

そこで、県議会の自由民主党議員団、民主党・無所属の会、公明党議員団、無所属刷新の会の4会派の代表に、今年度の重要課題、緊急経済対策、高齢者福祉の充実の3つのテーマについて考えを聞いた。

平成21年度初の定例会となる6月定例会が、きょう開会する。

景気の低迷による雇用問題や環境問題、少子高齢化への対応など、さまざまな分野で、県民生活に直結する課題が山積する中での議会となる。

## 今年度の重要課題

開かれた教育改革を推進 鈴木代表

六月定例会が開会します。各会派として、今年度、特に重点的に取り組んでいく課題についてお聞かせください。  
—無所属刷新の会、鈴木代表のお考えをお聞かせ下さい。

鈴木 刷新の会では、教育改革を進めるための提言を、今年度も積極的に進めていきたいと考えております。

最近の全国学力テスト公開問題では、一部公開とはなつたものの、県民の知る権利に十分応えている内容とは言えず、教育関係者の閉鎖的な体質とも取れる対応について、県民に開かれた形に変えていきたいと考えております。

また、引き続き議会改革についても、議会あり方研究会は今後も続きますので、さらなる議会改革に向けた提言を続けていきたいと思っております。

## 緊急経済対策

環境技術開発の支援を 鈴木代表

本年1月から3月期における県の四半期経営動向調査によると、県内中小企業の経営状況は一段と悪化しており、今後も厳しい状況が続くと予想されています。また、雇用情勢も厳しさを増しており、早急な対策が求められています。そこで、緊急経済対策についてお伺いします。

鈴木 刷新の会、鈴木代表はどのようにお考えですか。

鈴木 百年に一度の経済危機と言われている現状においては、経済投資効果の高い公共事業費について、地元建設業界への発注量を確保するため、工事費などのいわゆる真水増しの増額による景気の下支えは、緊急事態においては必要な施策だと思っております。

同時に、将来に向けた企業の環境技術開発の支援拡充や、低炭素社会実現に向けた太陽光発電の普及促進についても、補助制度の活用PR方法をさらに工夫し、多くの県民の皆様を活用していただく努力が必要だと考えます。

## 高齢者福祉の充実

今後も施設整備の促進を 鈴木代表

本県は今後、急速に高齢化が進むものと見込まれており、介護を必要とする高齢者もますます増加するものと予想されます。そこで、高齢者福祉の充実についてお伺いします。自民党の長沼団長からお願いします。

鈴木 刷新の会、鈴木代表はいかがですか。

鈴木 本県の高齢化は今後急速に進み、特に埼玉都民と呼ばれる都心に通勤していた地方出身者で、地縁血縁ともに薄い高齢者の方々が急増してまいります。そうした方々の老後は配偶者や施設介護が頼みとなるわけであり、その分「老々介護」による介護地獄のリスクが高まってきておられます。

今後も、地域包括支援ネットワークの構築を急ぐとともに、特別養護老人ホームや介護老人保健施設の整備促進も、高齢者人口の増加に合わせて計画的に進めていくべきだと考えております。

自由民主党議員団 長沼 威団長	民主党・無所属の会 矢部 節代表	埼玉県議会 公明党議員団 山本 晴造 団長	無所属刷新の会 鈴木 正人 代表
--------------------	---------------------	-----------------------------	---------------------



鈴木 正人 代表